

芸北教育

広島県立加計高等学校
芸北分校

296号
令和元年
～9月～

インターンシップ

9月3日～5日まで1年生はそれぞれの出身小学校や地元企業などでインターンシップを行いました。芸北分校生として5ヶ月が過ぎ、徐々に自覚が芽生えつつありますが、「芸分生」への階段はまだまだ道半ば。

予想外の事態にとまどうことや自信を失いかける場面もあったようですが、それ以上に小学生の活き活きとした姿に、元気や勇気をもたらしたようです。また、今年度から地元企業である百年農場、オークガードン、大暮養魚場でもお世



話様になりました。お忙しい中にもかかわらず、御指導くださり、誠にありがとうございました。

いましました。この体験を生かし、人の役に立つ職業を志す生徒が芸分から巣立っていくことを願っています。

全国から入学できます！
女子下宿、男子寮完備。町より月一万円
の補助制度あり。見学随時可能。
(電話) 〇八二六・三五・〇七二六



参加生徒の声

働くことの厳しさを知ることができました。先生方は児童が帰った後も常に机と向かい合い子どもたちのことを第

「一に考えている」と思いました。一番難しかったことは人に自分の考えを伝えることです。また、同時に聴くことの大切さを知りました。子どもたちが今、何を考えてどう思っているのかを読み取ることが大切です。それを克服するためコミュニケーション能力を身に付ける必要があります。

今回のインターシップがその能力を身に付ける**実践の場**だと思います。私は社会に出ても通じる社会性を身に付けたいです。**将来、地域に戻り地域を支える人になりたい**です。この3日間お世話になりました。

**子ども交流プロジェクト
及びトムソーヤスピリッツ2019 地域交流
地域貢献**

「北広島町子ども農山村交流プロジェクト」の体験指導者として、科目「グリーンライフ」選択生徒が参加させていただきました。



7月31日(水)は呉市立安登小学校とのカヤック体験交流、8月20日(火)は福山市立大津野小学校の生徒と「リンゴの作業体験」交流を行いました。また、芸北にお越しください。

8月7日～9日、3泊4日の日程で「トムソーヤスピリッツ2019」にボランティア参加しました。北広島町内の小学4年生から6年生の約50名の児童に対して、芸北の自然の中で笑顔いっぱい活動のお手伝いができ、分校生も元気をもらいました。

「つくし保育園」収穫交流

「未来の芸北分校生！」
芸北つくし保育園の園児が「トマトの収穫



体験」を行いました。熱い温室での体験でしたが、精一杯背伸びをして真っ赤に実ったトマトを次々に収穫していました。いっぱい食べて元気に成長してください。



各部活動躍動！

夏休み中、スキー部、バレー部、ソフトテニス部、卓球部が強化合宿を行うなど、充実した日々を過ごしました。また、神楽部は神楽甲子園を皮切りに毎週のように公演で活躍しています。



スキー部 クロスカン トリー上位を独占！

●「第38回山口県羅漢山ローリースキー大会」



○男子 (10 km)

1位 山中陽都 (3年)

○女子 (5 km)

1位 柏原明華 (1年)

大会新記録

2位 河野千春 (3年)

3位 藤井美緒 (1年)

●「第14岡山県ローラースキ ーかがみの大会」

〇女子（7km）

1位 柏原明華（1年）

2位 河野千春（3年）

3位 藤井美緒（1年）

夏場のトレーニングが必ず
や冬に発揮できると信じて頑
張ります。

シーズンに向けて頑張ります！

応援をお願いします！

中高合同挨拶運動！

9月10日（火）北広島町民
生・児童委員の方と中高生徒
会役員が合同で「挨拶運動」
を行いました。

秋晴れのすがすがしい朝に
「おはようございます」の元
気の良い声が響き渡りました。



スリランカ留学行って きます！

英語はもちろん、スリラン
カの文化も学んできます。ア
メリカやニュージージーランドな
どは日本人の多くが留学して
いると思いますがスリランカ

は知名度は
あまりあり
ませ。それが
チャンスだ
と考える色々
なことを吸
収していき

たいです。そして、お世話に
なった芸北への恩返しができ
ればと思います。

夏の終わりに

昨年は、多くの犠牲者に見舞われ、未だ
復興半ばにも至らない西日本豪雨一色の夏
であった。今年度も日本の各地で自然災害
が発生している。被災者の方々のことを考
えると胸が痛む。毎年のように「異常気象」
という言葉が飛び交っている。同様に「危
機管理」「自己管理」「未然防止」「災害対策」
等々、将来起こりうる自然災害を想定して
のフレーズであるが、「過去に経験のな
い・・・」という言葉もよく耳にする。
変化していくのは、自然だけでなく、世
の中も同じである。答えのない時代、多様
性に富み、答えが一つでない世の中である。
そんな中、3年生はこれから自分の進路実
現に向けて進んでいく。過去の自分の経験、
体験を通して自分の理想を見つづ、現実を
離れず、一歩ずつ自分の道を歩んでほしい
ものだ。

今月の教訓

「備えあれば憂いなし」

太公望球児